

政府情報システム調達における AI駆動型開発の導入促進 に関するご提案

「創る」の次の時代を創る。



認証 ISO/IEC 27001:2022、SOC2 Type II 保証報告書受領

所在地 日本 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目2-9
日比谷セントラルビル

Singapore 18 ROBINSON ROAD, #20-02, 18
ROBINSON, 048547

USA 214 Homer Ave, Palo Alto, CA, 94301

従業員数 約130名（グループ連結）

資本金 99百万円（資本準備金を含む）

設立 2017年8月



コード、ドキュメントをインポートしコンテキストを増やし
溜まったコンテキストを使ってコード、ドキュメントをさらに生成

コード

- COBOL
- Python
- Javascript
- ABAP
- HTML
- C
- 他あらゆる言語



The screenshot shows the Jitera AI interface. On the left is a chat window with a Claude AI model (claude-sonnet-4.6-jp) and a message input field. On the right is a document list for a project named 'EC_Cube_JPN'. The list includes various documents like 'ExcelCardDT_ownr.xlsx', 'イベント一覧.html', and '画面仕様書サンプル'. Below the list, there are two tables: '成果物種別ドキュメント名システム名画面名' and '画面項目一覧'.

成果物種別	ドキュメント名	システム名	画面名
画面仕様	入出力項目定義	購買管理システム	請求書処理入力

No	部品	画面項目名	name属性
1	テキストボックス	仕入先コード	supplierCode
2	テキストボックス	仕入先名	supplierName
3	セレクトボックス	口座種類	accountType
4	テキストボックス	銀行名	bankName
5	テキストボックス	支店名	branchName
6	テキストボックス	口座種別	accountCategory
7	テキストボックス	口座番号	accountNumber
8	テキストボックス	請求書発効日	invoiceDate
9	テキストボックス	請求書番号	invoiceNumber
10	テキストボックス	支払予定日	paymentDueDate
11	テキストボックス	会計年月	accountingPeriod
12	テキストボックス	支払済予定区分	paymentStatusCode
13	テキストボックス	請求書明細金額	invoiceAmount
14	テキストボックス	請求書消費税	invoiceTax
15	テキストボックス	支払予定金額	scheduledPayment
16	テキストボックス	合計予定金額	totalScheduledAmou
17	テキストボックス	合計消費税額	totalTaxAmount
18	テキストボックス	合計予定金額(総額)	totalAmount
19	チェックボックス	発注ヘッダ選択	orderHeaderSelect
20	ラジオボタン	発注ヘッダ詳細選	orderHeaderDetail
21	テキスト	発注番号	orderNumber

ドキュメント

- 要件定義書
- 概要設計書
- 詳細設計書
- 画面設計書
- テーブル定義書
- テスト仕様書
- コーディング規約



*生成AI (LLM) を用いてソースコードから要件定義書・設計書・テスト仕様書等のドキュメントを逆生成 (リバースエンジニアリング) し、コードの変更に合わせてドキュメントを自動で更新可能とする一連の技術プロセスについて、特許 (特許第7789284号) を取得

DBに溜まっているデータ、仕様書や設計書などのドキュメント（形式知）
人間のコミュニケーションで交換される非形式知がAIにとってのコンテキスト

貯める

AIにとってのコンテキスト

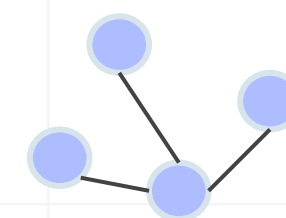
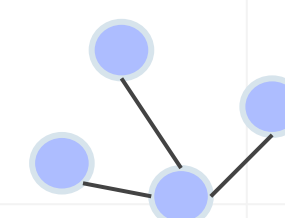
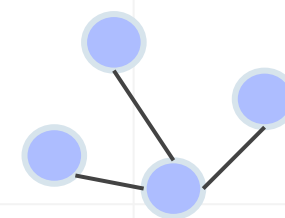
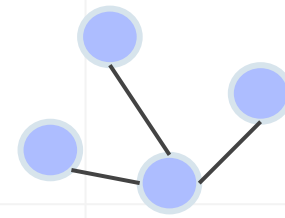
構造化データ

DB内のテーブル・レコード・API経由で取得可能なデータ

形式知

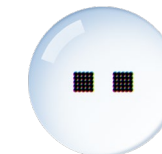
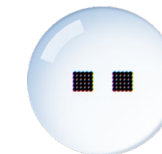
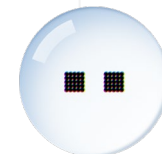
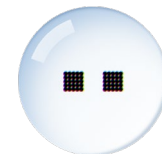
コード、仕様書、設計書 (Markdown, PDF, Excel etc...)

非形式知



使う

AIエージェント



設定

スケジュール実行
Webhook
Skill

スケジュール実行
Webhook
Skill

スケジュール実行
Webhook
Skill

スケジュール実行
Webhook
Skill

実際に公開されている入札案件などを元に擬似入札の演習を実施
AIを用いた公共案件への取り組みの検証により課題を抽出

ご協力いただいた開発ベンダー様

	<p>ベンチャー</p>
	<p>地方中小ベンダー</p>
	<p>準大手Sler</p>

調達情報の詳細

調達案件番号 000000000000564457
 調達種別 一般競争入札の入札公告 (WTO対象外)
 分類 物品・役務
 調達案件名称 調達・契約業務管理システムの導入等業務一式
 公開開始日 令和08年01月09日
 公開終了日 令和08年01月29日
 調達機関 こども家庭庁
 調達機関所在地 東京都

入札公告

下記のとおり一般競争入札に付します。
 記
 1 電子調達システムの利用
 本調達は、「政府電子調達システム」(<https://www.geps.go.jp/>) を利用した応札及び入札手続により実施するものとする。ただし、「紙」による入札書等の提出も可とする。

2 競争入札に付する事項等

(1) 件名	調達・契約業務管理システムの導入等業務一式
(2) 特質等	別添2仕様書のとおり
(3) 契約期間	契約締結日から令和8年3月31日(火)まで
(4) 入札書の受領期限	令和8年1月28日(水)17時00分
(5) 開札の日時及び場所	令和8年1月29日(木)14時00分 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング14F1402室 こども家庭庁入札室

(6) (4) 及び (5) については、電子調達システムにおいてシステム障害が発生した場合には、別途通知する日時に変更する場合があります。

3 競争入札に参加する者に必要な資格等に関する事項
 (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。
 なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

一例) 調達・契約業務管理システムの導入等業務一式
(子ども家庭庁)

2. 生成AI活用の実証 | サマリー

本実証結果のサマリーは以下の通り。

<プラス要素>

- ✓ **文書の読み込み・要件抽出の速度は圧倒的**
- ✓ **参画資格・要件に対する自社適正判定に対し非常に効果が高い**

<マイナス要素（今後の課題）>

- ✓ **効果の最大化・精度向上には、使用者側でいかに制御できるかが肝**



クオンティア様、検証内容発表

人月工数見積書

デジタルマーケットプレイスカタログサイト開発及び運用等業務

対象期間：2026年4月1日～2027年3月31日（12ヶ月） 前提：1人月 = 20営業日 = 160時間

■ 前提条件・算出根拠

項目	内容
契約期間	2026/4/1～2027/3/31（12ヶ月）
スプリント数	Sprint 1～16（各2週間）
中間リリース	2回（2026/9/30・2026/11/30）
最終リリース	1回（2027/2/28）
運用保守期間	12ヶ月（2026/4～2027/3）
工数単位	人月（小数点第2位四捨五入）

■ 人月工数見積表

1. システム運用

作業項目	対象フェーズ	月数	月あたり工数（人月）	合計工数（人月）	根拠
24時間 365日死 活監視	F1～F5 （12ヶ月）	12	0.25	3.00	監視ツール（CloudWatch）による自動監視＋アラート対応。月0.25人月（週1時間程度の確認・対応）

顕在課題

根本課題



1 既存ベンダーと発注者の間にプロジェクトに関する知識の差が発生している

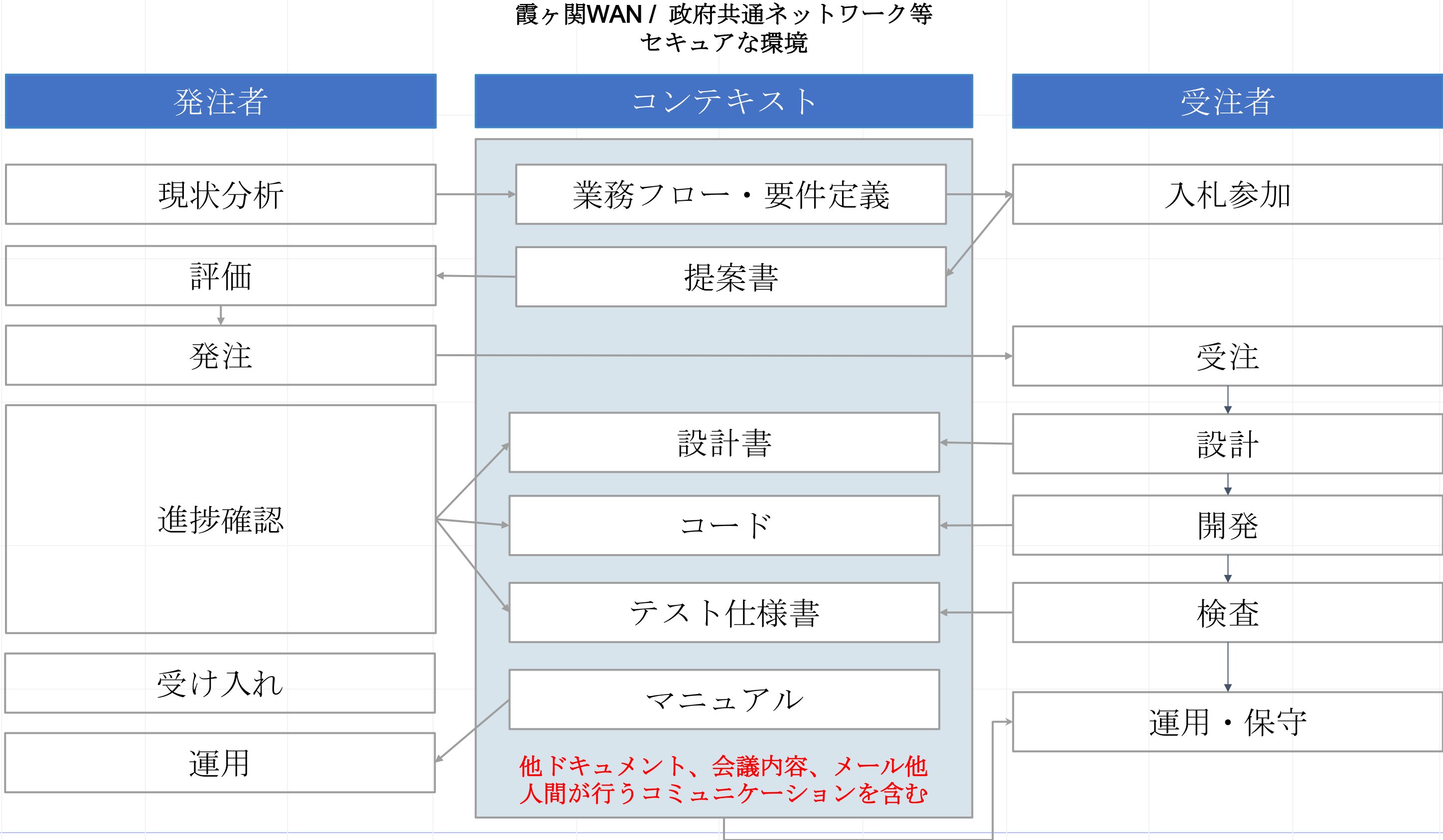


2 要件が曖昧であり、解釈の余地が大きいため仕様揺れるリスクがある



3 政策目的の優先度判断不能、前提条件が提示されない場合の判断保留などが起きてしまう

AI Ready な
コンテキスト
の欠如



AI Ready な
状態にする

課題

ExcelやPowerpointなどのフォーマットは現在のAIの精度ではあまり相性が良くない。

解決

Markdown 形式及びMermaid 記法を用いたドキュメントに集約していくことで、AIが読みやすい形式・出力しやすい形式となる。

過去案件の
コンテキストを
共有する

課題

関連するプロジェクトのドキュメントなどが参照しづらい状態であるため、AIを活用したプロジェクトを公共案件で行いにくい。

解決

過去の資料が残っている場合はその資料を安全な環境にあるAIエージェントに蓄積し、受注者が過去の経緯を理解したAIエージェントを使えるようにする。

新規案件ではAI
活用を意識した
状態にする

課題

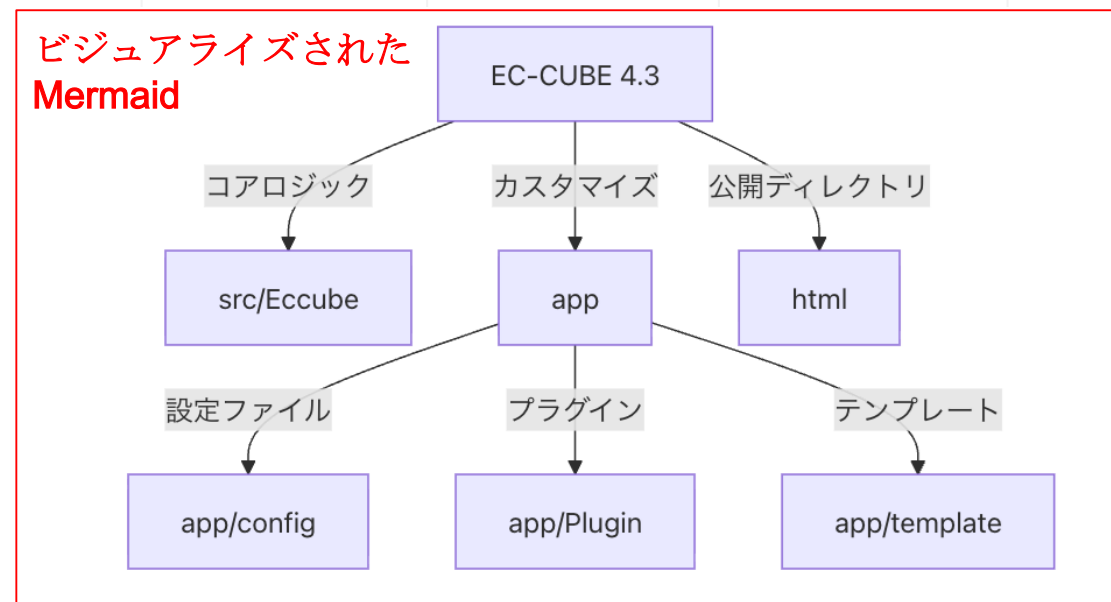
AIを意識した形の発注方式にしない場合、その次に発生する運用保守や関連プロジェクトでもAI活用がしにくいという負のループが起きる可能性がある。

解決

発注者がコンテキストを保持し、運用・保守を行う業者でも活用できるようにすることでAI駆動による運用・保守ができるようにしていく。

Markdown及びMermaidを用いることにより、チャートやグラフも対応可能。
 トークン量の観点からもAIへの負担を軽減できるため、AI駆動開発において推奨されることが多い。

ビジュアルライズされたもの



主要なディレクトリ構成は以下の通りです。

src/Eccube: EC-CUBEのコアロジックが格納されています。Controller、Entity、Form、Service、Repositoryなどが含まれます。

Markdown 自体

Mermaid 記法

```

240  ```mermaid
241  graph TD
242      Root["EC-CUBE 4.3"]
243      Src["src/Eccube"]
244      App["app"]
245      Html["html"]
246      Config["app/config"]
247      Plugin["app/Plugin"]
248      Template["app/template"]
249
250      Root -->|コアロジック| Src
251      Root -->|カスタマイズ| App
252      Root -->|公開ディレクトリ| Html
253      App -->|設定ファイル| Config
254      App -->|プラグイン| Plugin
255      App -->|テンプレート| Template
256  ```
    
```

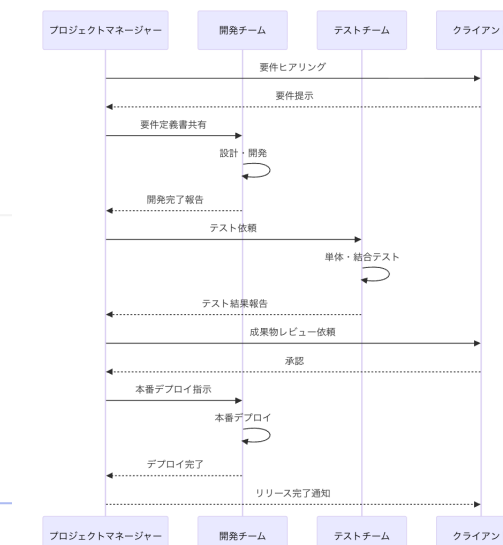
257

258 主要なディレクトリ構成は以下の通りです。

259

260 ****src/Eccube**:** EC-CUBEのコアロジックが格納されています。Controller、Entity、Form、Service、Repositoryなどが含まれます。

Mermaid 記法はガントチャートやフローチャート、その他グラフ等にも対応し表現力が高い



礼